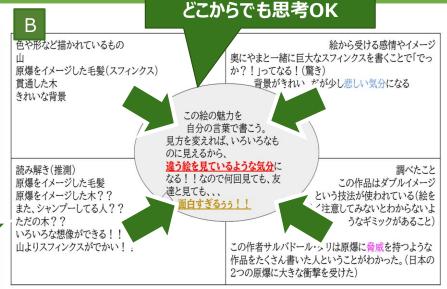
都城市立姫城中学校(宮崎県)【指定校】

【取組内容①】Google スライドを活用した協働的な学び

А				
形	描かれているもの	木、川、球体、家、山、いもむし	生	
色	見えている色	黒、灰色、赤(オレンジ)、紺色	徒 の	
イメージ	形や色から想起して 受ける感情	暗い、寂しい、静か	思	
読み解き	どんなメッセージ、 物語が隠されている か	田舎の小高い丘の上の一本の木。夜明ける。小さなイモムシは扉が空いたのと同ちて、イモムシは異世界に飛ばされた。	考 の ix	ていり落
その他	調べたこと・上の枠 に収まらないもの		流 れ	
タイトル		夜明けのいもむし		





美術の鑑賞領域においてGoogle スライドを活用して、個別に割り当てられたシートに意見や感じたことを入力しながら進めた。授業をしていく中で、【写真A】から【写真B】のように、生徒の思考の流れをより個別最適化するワークシートの工夫改善を行った。

このことにより協働的で個別最適化された授業に向けての工夫改善を行うことができた。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

【取組内容①】クラウドを活用した協働的な学び





数学科における実践

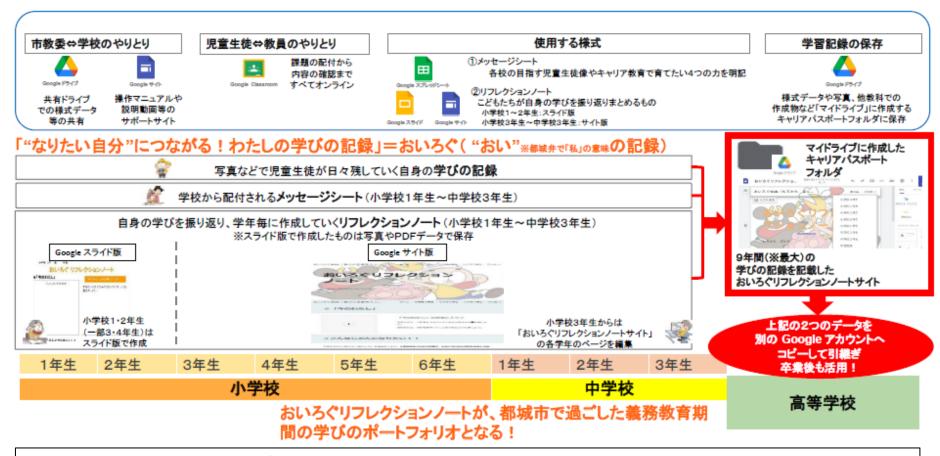
「図形の調べ方」においてデジタルホワイトボードを活用をした。個別の思考の流れが一目で分かるため、個別指導が必要な生徒を把握することができた。また、生徒同士でも、友だちの考えを参考にし、自分の思考につなげることができ、協働的に活動を行うことができた。課題としては、数学の計算などは入力や記入が難しく、生徒に負担のない方法で解決策を模索する必要がある。

特別の教科 道徳における実践

それぞれの意見や思いを同時に共有することができ、 個別の考えを深めることができた。また、個人のノート に書いた自分の考えを貼り付けることで、それぞれの 手元に思考の蓄積を残すことができた。

課題としては、考えを書き込む時間、他者の考えを 読む時間を十分に確保することが難しかった。授業を 行うにあたって時間配分を考慮する必要がある。

【取組内容②】キャリア・パスポートの完全電子化



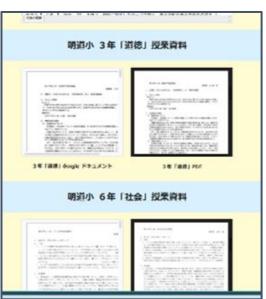
都城市では、キャリア・パスポートを完全電子化している。転出や進学のことも考え、県教育委員会、県内の全市町村へ説明を行い、電子化への理解を求めた。紙媒体で作成していたキャリア・パスポートを、Google サイトやGoogle スライドを使うことで、ファイルを紛失することもなくなり、写真や動画を記録して保存しておくことも可能となった。

【取組内容④】特設サイトの開設による公開研究会の開催



特設サイトのページ

- ◆指定校の取組
 - ·明道小
 - ·姫城中
- ◆公開研究会
 - ·駐車場配置図
 - ·授業公開
 - ·全体会
- ◆都城市の取組
- ◆リンク
- ◆都城市の紹介





- ◆公開研究会の申込み
 - ⇒ Google フォーム
- ◆駐車場・校舎配置図の案内
- ⇒ 特設サイトより案内
- ◆指導案
- ⇒ Google ドキュメントまたはPDF
- ⇒ 特設サイトより参加者各自でダウン ロード
- ◆受付
- ⇒ Google スプレッドシートを使うことで 異なる会場でも情報を共有

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

【取組内容④】Google アプリを活用した指定校と教育委員会の連絡調整



1 これまでの経緯と取組

初めはGoogle チャットとGoogle ドライブを活用し、教育委員会の担当と指定校の実務者会メンバー(教頭・教務主任・研究主任等)が連絡を取り合い、資料のやり取りをしていた。しかし、共有する資料が多くなりはじめ、共有ドライブだけでは検索に時間を要するようになった。

そこで、実務者会のメンバー専用のポータ ルサイトを開設したことで、必要な資料を探し やすくなり、効率的に進めることができるように なった。



2 実務者会(市教委担当、指定校の担当者)の在り方

対面で行う実務者会は毎月1回程度で、連絡のほとんどはGoogle チャットを活用した。実務者会では、写真(左)のように紙媒体の資料は配付せずに、各自端末を持ち寄り、クラウド上で共同に作業し、記録するようにした。

3 活用した主なアプリ

日程調整: Google スプレッドシート 実務者会の記録: Google ドキュメント

写真や資料の共有: Google ドライブ ※Google サイトで一元化

公開研究会の参加者名簿の共有: Google スプレッドシート

授業公開の指導案: Google ドキュメント

発表スライド: Google スライド

4 成果

共同編集機能やコメント機能を活用したことで、効率よく資料作成等を進める ことができた。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

【取組内容⑤】校務のDX化によるペーパーレスの推進

令和5年度まで

- ①日報
 - ⇒毎日作成し発行、印刷、職員の 机上に配付
- ②週案
 - ⇒毎週水曜日の朝、翌週と翌々週 分の週案2枚を印刷、職員の机 上に配付
- ③月行事
 - ⇒毎月中旬に翌月の月行事を 印刷、職員の机上に配付
- 4会議資料
 - ⇒両面印刷
 - ⇒ステープラーで留めて配付

①日報 ⇒廃止

2 週案

⇒PDFファイルで Google 共有ドライブへ

令和6年度

③月行事

⇒PDFファイルで Google 共有ドライブへ

4会議資料

⇒Google クラスルームへ 配信

R6 職員会資料

校 務 の DX 化

【取組内容⑤】校務のDX化によるペーパーレスの推進

紙媒体で配付していた生徒や保護者への連絡も、紙媒体による配付を可能な限り見直し、 Google クラスルームを活用して配付した。









職員専用のポータルサイトをGoogle サイトで開設し、散在していた情報を集約し、必要な情報をいつでも引き出せるようにした。ただし、生徒の個人情報はポータルサイトには貼らないようにした。 校務のDX化を図ったことで、用紙に係る費用が大幅に減ったことはもちろんのこと、下の写真のように端末のみを持ち歩く職員が増えたことは大きな成果である。



